

## 年報『現代社会と大学評価』 投稿規程

### 1. 投稿資格

原則として、当学会会員とする。

### 2. 投稿内容

大学評価に関する学術論文（以下論文）、資料、研究ノート、実践報告、レビュー、動向、書評・図書紹介等とし、未発表のものに限る。

### 3. 原稿枚数

原則として、論文、資料、研究ノートは18,000字以内（欧文の場合は6,500語以内）、実践報告、レビュー、動向は12,000字以内、書評・図書紹介等は4,000字以内とする。

なお、この字数には図表、注、参考文献も含まれるものとし、刷り上がりで論文、資料、研究ノートについては24頁以内、実践報告、レビュー、動向については18頁以内、書評・図書紹介等については、6頁以内とする。

### 4. 使用言語

審査および印刷の関係上、使用言語は日本語、英語のいずれかとする。

### 5. 執筆要領

別に定める執筆要領にしたがうこととする。

### 6. 原稿審査

提出された原稿は、特集論文を除き、審査の上掲載の可否を決定する。論文、資料、研究ノートは1編につき編集委員会が依頼する2名の会員により査読審査を行うが、やむを得ない場合は1名まで非会員が査読者になることもある。その他の原稿は編集委員会において閲読審査を行う。尚、審査の過程において、編集委員会より、原稿の修正を求められることがある。

### 7. その他

必要事項については編集委員会において定める。

### 8. 規程の制定と施行

本規程は2004年度運営委員会において承認後、運営委員会開催日をもって施行する。

改正は、理事会の承認によって行う。

第1号（2005年3月刊）については、原則として、本規程案に準じて運用を試行する。

[附則] 2011年4月24日改正（3、6、9）。

2012年4月24日改正（7を削除。以下、8以降を繰り上げ）。

2013年11月9日改正（2、3、6）。

2014年11月15日改正（6）。

## 年報『現代社会と大学評価』 執筆要領

### 1. 原稿用紙

原稿用紙はA4 用紙を使用し、1 ページあたり40 字×30 行、横書きとする。欧文の場合はA4 用紙にダブル・スペースで印字する。

### 2. 執筆者名

執筆者名は本文とは別の用紙に記し、執筆者の所属（大学の場合は学部・研究科等）、職名を付す。大学院生の場合は課程、学年等を明記する。執筆者の氏名・所属・職名の英語表記を併記する。

### 3. 図・表

図、表は本文原稿とは別にし、1 枚の用紙に1 つだけとし、図1、表1 という形でそれぞれの図表に一連番号をつける。また本文中に、それら図表の挿入希望箇所を「表1 入る」という形で指示する（ただし、組みあがりの関係で必ずしも希望どおりにならない場合もある）。

### 4. 章立て

見出しには第、章、節等の文字は使用せず、見出し番号は以下に統一する

はじめに（序、序論など。またなくてもよい）
I.
1.
(1)
(2)
2.
II.
III.
おわりに（結び、結論など。またなくてもよい）

### 5. 注

注は本文のおわりにまとめ、(1)、(2)の形で通し番号をつける。注の形式はおおむね次のとおりとする（これとは別の形式による注記を希望する場合は編集委員会に相談すること）。

#### (1) 日本語文献

- ①単行本：著（編）者名『書名』（シリーズ名）出版社、出版年、ページ。
- ②論文：執筆者名「論文名」『雑誌名』巻、号、出版年月日、ページ。または執筆者名「論文名」編者名『書名』出版社、出版年、ページ。
- ③新聞：『新聞名』年月日、（夕刊の場合のみ明記）

#### (2) 外国語文献 著者名は、原則として姓を先、名を後にし、共著の場合は2人目から倒置しない。

- ①単行本：著（編）者、書名（イタリック、または下線を引く、以下書名は同様）、出

版地、出版社、出版年、ページ。

②論文：著者名、“論文名”、雑誌名、巻、号、出版年、ページ。

③新聞：新聞名、年月日、ページ。

(3) インターネット情報の引用アドレスとサイト名を明記すること。またアクセスの年月日も明記することが望ましい。

## 6. 英文要旨

論文・資料・研究ノートには500語程度の英文アブストラクト（要旨）と3～5語／句の英語キーワードを添付する。英文アブストラクトは、執筆者の責任において、ネイティブ・チェックを受けるものとする。論文・資料・研究ノート以外の原稿は、英文アブストラクトは不要とする。

7. 投稿原稿は本文、図表等はすべて白黒で作成する。

## 8. 原稿提出方法

原稿はワードプロセッサにより作成し、論文、資料、研究ノートの執筆者は原稿を3部、特集論文及びその他の投稿の執筆者は原稿を2部、テキストファイル形式（ワード、エクセルも可）で保存したメディア（CD、USBフラッシュメモリなど）とともに編集委員会に提出すること。

## 9. 校正

執筆者による校正は2校までとする。

## 10. 原稿提出期日と刊行期日

査読審査を行う論文・資料・研究ノートの原稿提出期日は、9月末日とする。その他の原稿は随時受け付ける。なお、提出された原稿等は一切返却しないので、必ず写しを取っておくこと。刊行期日は原則として7月とする。

## 11. 原稿送付先・問い合わせ先

大学評価学会年報編集委員会

〒558-8585

大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学大学教育研究センター

西垣 順子 気付

Tel & Fax : 06-6605-2128

Email : [nishigaki@rdhe.osaka-cu.ac.jp](mailto:nishigaki@rdhe.osaka-cu.ac.jp)

[附則] 2011年 4月24日改正（2、6、7、9、10）。

2012年 5月18日改正（10）。

2013年 11月 9日改正（6、9）。

2014年 11月 15日改正（7を追加。以下、8以降を繰り下げ。8）。